

洛東園だより

- 平成27年10月発行 社会福祉法人 洛東園
- 発行責任者／西村 英亮
- 〒605-0981 東山区本町15丁目794
- 電話番号／561-1171 ■FAX／531-8372
- ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>

「介護してもらおう」でよいでしょうか

洛東園理事・評議員 奈倉道隆（介護福祉士・老年科医師 京都女子大学非常勤講師）

園生さんやご家族の方から、「洛東園で介護してもらっています」という言葉をお聴きすることがあります。当園の介護を信頼してくださっているお気持ち伝わり、有難いのですが、これでよいのかという思いもいたします。

かつての介護は、介護する人・される人という間柄で進められてきました。しかし、今では「介護を提供する人・利用する人」という間柄で進められるようになりました。信頼し合う関係が大切なことには変わりありませんが、介護者と利用者さんが対等な人間関係で進めること、そして利用者さんの生き方を尊重することを何よりも大切にする生活支援に変わってきています。

いうまでもなく、介護は、利用者さんが自分らしく生きて行かれるのを支援するものです。年をとっても、障害があっても、生きること喜びを感じて生きていかれるのをお手伝いするものです。

かつて私は、京大病院の老年科でお年寄り専門

の医療をしていました。そこでは、患者さんの痛みを和らげ、悪い所を取り去るサービスをしました。そのため、「治療する人・される人」という関係にたち、患者さんは「治療してもらう人」でした。医師や看護師は、その人の望む生き方よりも、健康が回復しやすい生活を重視し、指導します。病氣回復のためには仕方がないことと我慢して暮らされますが、自分らしい生き方ができない不満から、家に帰りたい思いをつのらせておられました。

介護は、医療と違い、利用者さんが生きる喜びを感じて暮らすために利用して頂くサービスです。支援する時は、介護者が必ず「声掛け」をして、本人の意思を確認してから実行します。利用者さんも、「介護してもらおう」という受身の姿勢でなく、自分の生き方を支援してほしいという主体的な姿勢で利用して頂きたいと思います。

利用者さんが生きがいを感じ、介護者が介護のやりがいを感じられるような生活支援を、これからも志していきます。

洛東園の理念

- ◎個性・自主性を尊重し、明るい温もりのある生活
- ◎安全と快適な暮らし
- ◎地域に根ざした開かれた施設

もみじの家での 取り組み

地域の中

小規模多機能サービスもみじの家はマンションの1階にあり、地域の方との距離も近く、様々な取り組みを通して、交流を深めてきました。

本町4丁目町内会

もみじの家では開設当初より、本町4丁目の町内会に参加しています。今年は組長を任されており、地域行事のお手伝いや、町内会の集まりにも参加させていただいています。

町内会に参加しているので、回覧板も回ってきます。

回ってきた回覧板を、利用者さんと一緒に次の方のご自宅まで持っていくと、ご近所の方が笑顔で回覧板を受け取って下さいます。



回覧板を
届けてきます!!

貞教消防分団

貞教消防分団では、貞教学区内の火災や水害等の様々な災害に対する訓練等を行っておられます。

団員は、貞教学区内の地域住民を中心に構成され、もみじの家からも職員が参加し、月に2回ある集まりや夜回り、学区内で行事がある際には、火の元の確認等を一緒にさせていただいています。



※もみじの家 藤田職員（左）
分団長 宮脇さん（中央）



貞教消防分団分団長の宮脇さんに、もみじの家の印象を伺いました。

もみじさんには、お年寄りが沢山おられるので、
火災が起きた時に避難が大変だろうと思い、気にかけています。

地域行事

地蔵盆

8月23日、本町4丁目にある専定寺（通称、烏寺）では、地蔵盆が行われました。

地蔵盆には、毎年利用者さんと一緒に参加をしていますが、今年は組長を任されている為、準備のお手伝いも地域の方と一緒にさせていただきました。

「もみじさんからは、何人来られますか?」「もみじさんも、お茶もらった?」等、地域の方がもみじの家の利用者さんの事を気かけ、優しい言葉をかけて下さいました。



※もみじの家 利用者Aさん（手前）
地域の方と一緒に、数珠回しに参加しました。

他にも夏祭りや運動会等、様々な地域行事に参加させていただいています。

又、もみじの家の避難訓練では、地域の方にも参加を呼びかけています。地域の方も一緒になって、消防隊員から災害時に役立つ知識を学んでいただける機会を設けています。

これからも、地域の方と支え合っていく存在でありたいと考えています。

（記：宮本亜由美、吉田聡一郎）

行事委員会の取り組み

行事委員会は今年度できた新しい委員会です。昨年までは洛東園まつり委員会として、毎年10月開催の「洛東園まつり」の企画・運営を行っていました。今年度からは、法人理念の一つでもある「地域に根ざした開かれた施設」をめざし、園内行事にとどまらず、地域で開催される行事にも、地域の一員として洛東園全体で取り組むことをめざし、委員会がリニューアルしました。

地域の夏祭りに参加しました



企画会議中…



鉄板の熱さと
猛暑と奮闘！

職員と一緒に…



今年も10月25日に恒例の「洛東園まつり」を開催します。利用者さん、ご家族、そして地域の方々と楽しい一日を過ごせるように委員会では4月から準備を進めています。職員一同、皆様の来園をお待ちしています。



洛東園まつりの様子

《洛東園まつり》

日 時：10月25日（日）
10：30～15：30（予定）

催し物：泉中学校吹奏楽部による演奏
フラダンス同好会の発表、
音楽ボランティアの
アコーディオン演奏…など

ゲーム：ボーリング

屋 台：天ぷら、肉まきおにぎり、地域の方による
ポップコーン、綿菓子など



（記：小笹友子、梅原幸子）

福祉用具 の 紹 介

牛乳パックに愛を込めて プレゼント



みなさん手先が器用で、
機械のように正確に
どんどん部品が完成していきます。



「ぼん。ぽぽんぽんぽん」

途中で完成品をみて
イメージを膨らませます。
堤太鼓の形に似ていると、
太鼓を披露してくださいました。

良い座位姿勢の ポイント

- ① 背筋がまっすぐ伸びている
- ② 頭がお尻より少し前
- ③ 股・膝・足首の関節は
90度に曲がっている
- ④ 両足の底がしっかり地面
についている
- ⑤ 左右のバランスがとれて、
頭が身体の中央にあり、
傾きがない
- ⑥ 両足は肩幅の広さ



特養の利用者さんへ
養護のみなさんから
プレゼント。
いつまでもお元気で。



洛東園では、利用者さんに良い姿勢で座って頂けるよう、ある取り組みを行っています。今回はその様子をご紹介します。

座っている際に足裏にかかる体重は約二割と言われています。

そのため、しっかりとつま先からかかとまでが床についていないと、座位のバランスを崩すばかりか、臀部や体幹（胴体）に不自然な力が加わり、疲れや皮膚のトラブルにつながります。また姿勢が悪くなり、骨の変形や関節の拘縮などの原因となることもあります。施設では、椅子の座面の高さはほとんどが同じ高さですので、小柄な利用者さんは足の裏を床にしっかりとつけることができません。そこで、手作り足台を作っています。

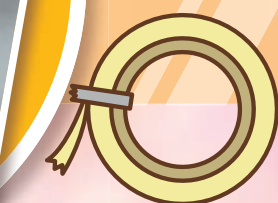
足台作りの参加を養護の利用者さんに呼び掛けると、人の役に立つのなら喜んで。とすぐに集まってくださいました。材料は、厨房で使用済の牛乳パックです。

壊れてしまっても大変ですので、頑丈に作るために1個の足台に24本の牛乳パックを使用します。

牛乳パックに
みんなの想いを詰め込んで。



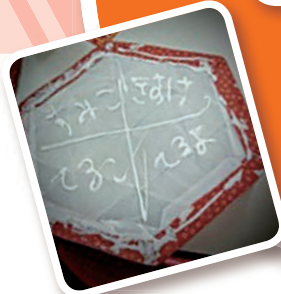
骨組みが完成。
ここから仕上げを
していきます。



骨そして、
きれいに外側に
布きれを
貼り付けます。



糊付けするときに、
ちょっとイタズラ。
皆さんの想いを
込めます。



完成。



(記：北川曜司、名和野美幸)

認知症対応型 デイサービスの とある一日

介護保険制度改正に伴い、認知症対応型
デイサービスの在り方も日々変化しつつあ
ります。そんなある日の一日を密着してみ
ました。



今日も一日よろしくお願いします。

AM9:00頃～



午前
入浴や個別活動・
体操を行います。

ボランティアさんよる
バイオリン演奏。



時間をみながら
真剣そのものです。

利用者さん個々に興味のあるものを
選んで取り組んでいます。

AM11:00頃～
そろそろ
お昼の準備



食材を厨房に
取りに行きます。

今日は暑いので
素麺をゆがきました。



皆さん頑張っています。

「〇〇さ～ん、お昼のおみそ汁作ってくれはりますかあ？」座席で手持無沙汰にしている〇〇さんにお声かけすると、「え～、私かあ？自信ないけど・・・、やってみよか。」と返事をしながら流しに向かって歩いて来られました。多くの利用者さんは炊事や洗濯などの日頃の活動をしながら自分の“役割”を持って過ごしておられます。

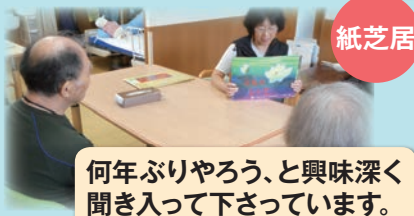


午後 紙芝居、外出、お散歩、おやつ作り等々

おやつは水無月を
作りました。



お風呂で使った
タオルをたたみます。



紙芝居

何年ぶりやろう、と興味深く
聞き入って下さっています。



夕方 ぼちぼち帰ろか・・・

利用者さんにとって
毎日が真新しい体験
の連続です。明日も
また新しい1 ページ
を開くことができま
すように・・・。



記：山口美佳 當原英理子

ボランティア紹介

洛東園の ボランティアさんを 紹介します

洛東園では多くのボランティアの方々にお越しいただき、様々な活動をして頂いています。洛東園デイサービスでも6名の方が毎週来て下さり、いつも利用者さん・職員共に、心待ちにしています。

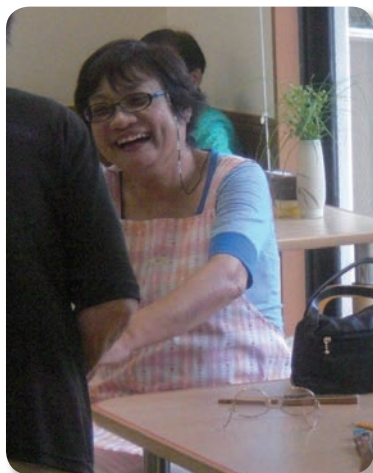
今回、洛東園のデイサービスでボランティアをしてくださっている方々にインタビューをさせて頂きましたので、その一部をご紹介します。

Q：洛東園でのボランティアを始めたきっかけは何ですか？

長谷川さん：「母が洛東園のデイサービスを利用して、ずっと職員さんが働いている姿をみてきました。母が亡くなってから1年が経ち、少し職員さんのお手伝いが出来たら…と感謝の気持ちで始めました。」

浅野さん：「以前、母が洛東園のデイサービスを利用して、また、家族が洛東園で働いているのもあり、話を聞いていて楽しそうだな、と思って始めました。親子3代でお世話になってます。」

福田さん：「近所の方が洛東園でボランティアをされていました。これまで商売してきて高齢の方と接する事も多く、興味を持ってその方に声を掛けました。見学に行かせてもらって、これなら私でも出来るなと思って始めました。」



浅野さん



長谷川さん



福田さん

Q：ボランティアをやって良かった事は何ですか？

A：「感謝してもらえるのがうれしいし、楽しい。」
「このボランティアに来て、自分自身がとても明るくなった。デイサービスを利用してる方、皆に元気をもらって帰るの。とても楽しい。」

ボランティアではどんな事をされていますか？

洗い物、お茶出し、配膳、お話し
一緒に新聞を読む、塗り絵をする
おうちで育った季節の草花を花瓶に生ける、水やり等



自宅の庭先で咲いていたよーと
持ってきてくださいました



(記：堀江佑子)

洛東園 川柳 コーナー

洛東園川柳 第3弾です。今回も、皆様からご応募いただいた作品の一部をご紹介します。

持ちよりで

女ばかりの いとこ会

古谷 野枝

ヘルパーさん

しゃべりたいけど 時間ない

高橋 みつ子

さまさまの

話のはずむ 五分間

九十二歳 媼

老の花

くすんだ色より

派手な色

横山 義雄

七三で

七五三には 五が足りぬ

田口 宜昌

五七五

指折り数え うたつくる

横井 フサ子

カラオケで

懐かしい歌 思い出す

磯村 京子

園の朝

馴染みの方を 探しけり

渚 八重子

寝る前に

川柳一句 朝忘れ

大島 喜代子

面白い

みんな朗らか 楽しいな

匿名2人共作

約束は

互いの信用の上に花開く

岩本 輝子

食堂で

ご飯食べたらず忘れ

匿名

10月25日

「洛東園まつり」

寄付・寄贈

【寄付金】 古川 良太様 【寄贈品】 株式会社朱常分店

代表取締役社長 西廻 直行様

ありがとうございました。

寄付・寄贈順

洛東園では見学、実習やボランティア等、
随時受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

洛東園だより

発行／社会福祉法人 洛東園

〒605-0981 東山区本町15丁目794

電話番号：561-1171 FAX：531-8372

ホームページアドレス

<http://www.wf-rakutouen.com>

洛東園の行事予定

施設名	月	10月	11月	12月
養護老人ホーム		洛東園まつり	日帰り食事会	年末忘年会
特養 洛東園		お月見	紅葉散策 外食ツアー	家族交流忘年会 ゆず風呂
修道洛東園		修道運動会	紅葉散策	忘年会 クリスマス会
デイサービスセンター (一般型)		運動会	季節のレクリエーション	クリスマス会
(認知症対応型)		運動会、外食レク	もみじ狩り	クリスマス会
もみじの家		運動会	個別外出レク	クリスマス
全体		開山忌法要 洛東園祭り		

※記事中の写真は全てご本人、ご家族の了承を得て掲載しております。

その他、クラブなども随時行っております。